

わざわざスーツに着替えてから来るお客さんが、ブランドショップに好かれる。

ブランドショップに行くときの理想的な服装は、ずばりスーツです。

もちろんブランドショップは、カジュアルな服装でも入店が可能です。

店側としては、私服のお客様も大歓迎。

商品が変わるわけでもなく、何か不都合が生じるわけでもありません。

店員が不機嫌になることもないでしょう。



しかし、店員の接し方が変わるはずです。

スーツで行くと、気合を入れた様子が服装から伝わります。

「お客様の購買意欲は強いのだろう」

「お客様の誠意に応えたい」

本気で買い物に来ていることがわかれば、店員としても気持ちが引き締まるでしょう。

その結果、店員の商品説明や接し方がいつもより丁寧になる可能性があるのです。

わずかにサービス品質が上がるなら、外見に気遣う価値はあるでしょう。

特に気をつけたいのは、時計と靴です。

店の店員は、時計と靴を、見ていないように見えています。

きちんとした時計と靴をしていけば、より親身に接してくれるでしょう。

本来、高級ブランドを買いに行くときは「高級ブランド」にふさわしい服装が適切です。

いいお客さんになりたければ、客側もふさわしい服装が必要です。

わざわざスーツに着替えてから来るお客さんが、ブランドショップに好かれるのです。

生活の質を向上させるマナー その3

ブランドショップに行くときは、スーツに着替えてから行く。